

▶ 2020年3月期 決算説明資料(IFRS)  
(2019年4月 – 2020年3月)

証券コード： 5938

株式会社 LIXILグループ  
2020年5月29日



Copyright © LIXIL Group Corporation. All rights reserved.

2016年3月期よりIFRSに移行しています  
各段階利益の名称の違いは以下の通りです

日本基準	IFRS（当社財務報告）
	<b>継続事業</b>
売上高	<b>売上収益</b>
売上原価	売上原価
売上総利益	売上総利益
販管費	販管費
<b>営業利益</b>	<b>事業利益（CE）</b>
営業外収益・費用	その他収益・費用
経常利益	営業利益
特別損益	金融収益・費用
	持分法投資損益
税引前利益	<b>税引前利益</b>
	継続事業からの当期利益
	<b>非継続事業</b>
	非継続事業からの当期利益
当期利益	当期利益
非支配持分に帰属する当期利益	<b>親会社の所有者に帰属する当期利益</b>
親会社の株主に帰属する当期利益	非支配持分に帰属する当期利益

IFRS基準の「**事業利益（CE）**」は日本基準の「**営業利益**」に相当

「連結子会社の異動（株式譲渡）に関するお知らせ」に開示(20/5/1)のとおり、株式譲渡の対象となったベルマステリーザ社及びその子会社に関連して発生する損益の全てが当第4四半期より「非継続事業」に分類されています。比較のため前期も同様に組替を行っています。

## 2020年3月期 決算ハイライト

### ▶ 上期の業績好調が寄与し、増収増益 ペルマスティリーザ社の損失縮小により最終利益黒字化

- 売上収益 1兆6,944億円、前年同期比0.1%増**  
 国内：下期における消費税増税後の反動、新型コロナウイルス影響による需要減あるも、上期の増税前の需要増により、前年同期に0.6%の増収  
 海外：東南アジアにおける需要減退および為替換算影響を要因として、前年同期比2.5%の減収（為替影響を除く海外売上成長は+1.2%）<sup>(1)</sup>
- 事業利益 586億円、前年同期比7.5%増**（参考値\* 641億円、前年同期比17.7%増）  
 国内：キャリアオプション費用の計上あるも、特にハウジング事業での価格改定や生産効率改善により増益、利益率改善  
 海外：東南アジアが不振も北米・欧州好調により増益
- 最終利益<sup>(2)</sup> 125億円、前年同期比647億円増**  
 上記の事業利益の増加とペルマスティリーザ社の損失の縮小により、新型コロナウイルス対策費用の計上あるも黒字化

LIXIL

参考値\*：キャリアオプションによる費用計上影響額を除く

(1) 主として円高ユーロ安影響（為替レート：19/3期実績 1 EUR=128.43円、20/3期実績 1 EUR=121.14円）

(2) 最終利益=親会社の所有者に帰属する当期利益

3

## 2020年3月期 連結業績結果

	億円	19/3期 通期	20/3期 通期	前年同期比		20/3期 通期予想 達成率 <sup>(4)</sup>
				対実績		
		遡及 修正後	実績	増減	%	%
継続事業	売上収益	16,924	<b>16,944</b>	20	0.1%	100.0%
	売上総利益	5,536	<b>5,654</b>	119	2.1%	-
	(%)	32.7%	<b>33.4%</b>	+0.7pt	-	-
	事業利益 <sup>(1)</sup>	545	<b>586</b>	41	7.5%	100.1%
	(%)	3.2%	<b>3.5%</b>	+0.2pt	-	-
	事業利益 参考値*	545	<b>641</b>	96	17.7%	-
非継続事業を含む	非継続事業を含む 当期利益 <sup>(2)</sup>	-522	<b>125</b>	647	-	78.2%
	EPS (円)	-179.98	<b>43.15</b>	223.13	-	83.4%
継続事業	EBITDA <sup>(3)</sup>	1,201	<b>1,606</b>	405	33.7%	-
	(%)	7.1%	<b>9.5%</b>	+2.4pt	-	-

- 事業利益率は0.2pt改善。売上総利益率は前年同期比0.7pt改善  
 販管費率0.4pt増加の主因は、キャリアオプションによる人件費増
- EBITDAに含まれるリース会計基準適用影響（IFRS16）は、336億円（減価償却費増によるEBITDA増）  
 参考値\*：キャリアオプションによる費用計上影響額を除く

LIXIL

(1) 日本基準の「営業利益」に相当  
 (2) 親会社の所有者に帰属する当期利益  
 (3) EBITDA=事業利益+減価償却費

(4) 2020年5月1日開示「業績予想の修正(連結)および国内子会社での特別損失の計上に関するお知らせ」で発表した計画値に対する達成率

4

## 新型コロナウイルス感染症拡大への対応について

当社グループでは、下記3点を最優先事項として取り組んでいます<sup>(1)</sup>



従業員とその家族・  
ステークホルダーの  
安全・健康の確保

- **グローバル対策チームの設置（1月下旬）**
  - ✓ グループ全体での迅速、かつ、統一化された対応の実現
- **在宅勤務への移行**
  - ✓ 昨秋からの人事施策・デジタル対応が奏功し、スムーズに在宅勤務へ移行（3/2までに本社勤務の50%、その後4/8までに98%が段階的に移行）
  - ✓ 工場等における柔軟なシフト体制の導入・衛生管理の強化
  - ✓ デジタル技術活用による経営層と従業員、従業員間コミュニケーションの確保
  - ✓ 予定外の支出への対応費用とした一時金の支給（一人あたり5万円）<sup>(2)</sup>



事業の継続性の確保

- **お客さまへの商品・サービスの安定的かつ継続的供給**
  - ✓ 柔軟なグローバル生産体制により、生産停止の際は他地域で代替生産が可能
- **オンライン対応**
  - ✓ 既存ソフトウェアと自社開発ソフトウェアの組み合わせにより、営業現場、ショールームでオンライン商談へスムーズに移行し、事業活動の継続を可能に



手元流動性の確保

- **自律的成長と中期計画達成に必要な投資資金の確保**
  - ✓ 十分な手元資金、コミットメントライン未使用枠あるも、更なる経営環境の悪化も想定した、新たな短期融資枠の設定
  - ✓ 投資の優先順位付け、在庫管理の徹底、販管費の低減、等

**LIXIL**

(1) 詳細については、2020年5月1日公表「2020年3月期通期連結決算発表日程の変更および新型コロナウイルスに対する取り組みに関するお知らせ」をご参照  
(2) 海外においては、現地通貨ベースにおける同等額。総額35億円（当第4四半期において、「その他費用」に計上） 5

## 新型コロナウイルス感染症拡大の影響について

### 生産・調達・販売の状況（2020/5/25更新<sup>(1)</sup>）

	生産	調達	販売（出荷状況）	
	商品供給に 大きな問題なし	部品調達に 大きな問題なし	状況を注視	
			前年同期比	
			4月	5月
日本	全工場稼働	3月下旬より改善	-10%	-15%
海外	大きな問題なし	大きな問題なし	-30%	-28%
アメリカ	メキシコ（2拠点） <sup>(2)</sup> 一時生産停止中	大きな問題なし	-30%	-23%
欧州・中東・ アフリカ地域	南アフリカ（1拠点） 一時生産停止中	大きな問題なし	-34%	-27%
中国	全工場稼働	大きな問題なし	+7%	-20%
その他アジア	全工場稼働	大きな問題なし	-35%	-42%

**LIXIL**

(1) 2020年5月1日公表「2020年3月期通期連結決算発表日程の変更および新型コロナウイルスに対する取り組みに関するお知らせ」からの更新  
(2) 2020年6月1日より生産再開予定 6

## ニューノーマルへの対応

衛生的で健康的な住宅への関心の高まりをサポートするため、効率性の向上と商品群の強化を推進

### 生産性の向上

- 働き方改革への取り組み継続**  
 (在宅勤務など、柔軟な勤務体制の継続・更なる促進)
- デジタル化への取り組みの加速**
  - ・イノベーションの促進
  - ・エンドユーザーアプローチの強化
  - ・オンラインショールームの比率向上
  - ・デジタルコンテンツの充実
- 実力主義文化へのシフトの加速**
- グローバルでの展開加速**
- 効率的な商品供給**
- 売上成長の実現**
- イノベーション・プラットフォーム**

### ニューノーマルに対する商品群の強化

(一部商品例)

#### 衛生

触れずに清潔



タッチレス水栓

自動開閉・自動洗浄  
機能で更に衛生的



シャワートイレ

IoT化で触れずに操作



ライフアシスト

健康、快適、安心・安全

#### 「いつもを、幸せに。」

在宅ワーキングスペースの確保 非対面での荷受け



ドアを閉めたまま  
採風できる玄関ドア

#### 換気



ヴィータパネル



ガーデンルーム



宅配ボックス

#### 在宅勤務へのサポート

LIXIL

7

## ニューノーマル: デジタル化による取り組みの加速

従来から推進してきたデジタル化の加速により、中期経営計画の主要施策を実行

### 働き方改革

- より柔軟な働き方を支援**  
 デジタルツールの活用によるフレックスタイム制や在宅勤務の維持・推進
- 社内コミュニケーションを強化**  
 デジタルツールを活用したネットワーク型コミュニケーションを活性化し、イノベーションの創出を加速
- 業務効率の向上**  
 従業員エンゲージメントの向上（国内で12月に実施した調査から10%の改善）や業務の効率化を実現



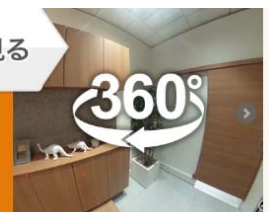
在宅勤務Community / Work From Home (WFH) Community  
Open Group

### オンラインでの営業活動

- 既存ソフトウェアと自社開発ソフトウェアを組み合わせ、オンライン接客サービスを提供。** 流通業者・ビルダー・施主がプラグインされたソフトウェアを使用することにより、図面や現場情報を共有可能
- コンピューター、スマートフォン、タブレットなどを通じて、遠隔からショールームサービスの提供継続を可能にした独自技術**
  - ショールームスタッフによるオンライン相談
  - 即時見積もりと、3D完成予想イメージの提供
  - 360度商品画像
  - 商品映像・カタログ

ショールーム360度写真を見る

ショールームに展示している商品を360度写真でご覧いただけます。



LIXIL

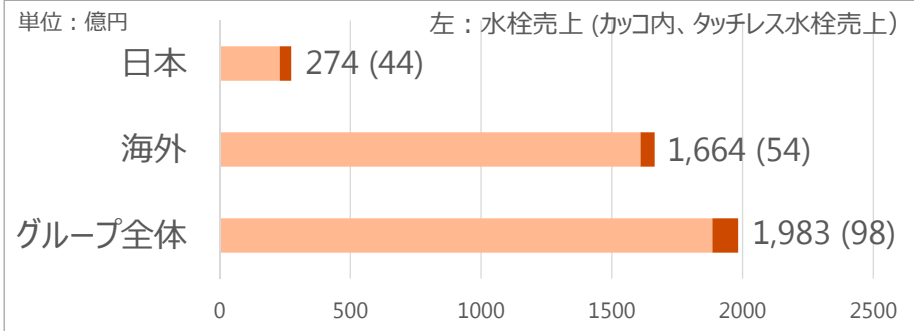
8

## ニューノーマル: 衛生に対する関心の高まりを背景に世界中で急速に需要が増加

### 「タッチレス水栓<sup>(1)</sup>」

▶ 当社の持つ「強み」を生かし、さらなる成長に向けて取り組みを加速

#### 2020年3月期 当社グループ 水栓\*売上



\*便器用洗浄機器・排水機器・アクセサリは除く

- 20/3月期における日本でのタッチレス・自動水栓の出荷台数割合は未だ水栓全体の4%程度
- 当社タッチレス・自動水栓売上  
20/3期：98億円  
21/3期：166億円（見込）

今後住宅用タッチレス水栓の売上が急激に成長することを期待



キッチン用タッチレス水栓「ナビッシュ」

**40件**  
のタッチレス  
水栓特許（住宅  
キッチン関連）  
を保有/日本<sup>(2)</sup>

**No.1**  
シェア<sup>(3)</sup>の  
キッチン事業  
を有する/日本

**82%**  
日本における  
タッチレス水栓  
の当社シェア<sup>(4)</sup>

**150カ国**  
以上の国で  
水栓事業を  
展開

**LIXIL**

(1) 水栓に非接触式センサーを付け、ハンドルに触れなくても吐水/止水ができる機能が付いたもの。主に住宅向け。

(2) 自社調べ

(3) キッチン・バス工業会データ、および、自社出荷データから算出（20/3月期）

(4) バルブ工業会データ、および、自社出荷データから算出（20/3月期）

## ニューノーマルへの対応：グローバルでの展開加速

LIXIL Internationalが海外事業を統合することにより、グローバル施策の展開を加速

### 効率的な 商品供給体制

アメリカでのシートタイプのシャワートイレの需要対前年60%増への対応として、アジアの生産キャパシティを活用



全世界におけるタッチレス水栓の需要は、対前年で倍増。これに対応可能な生産能力を確保



### チャネル/お客さまとの 強固な関係構築による 売上成長の実現

eコマースへの  
成長投資を継続



デンマークでの手洗い場設置活動におけるパートナーシップの構築



### イノベーション創出 のための プラットフォーム

アメリカでは、エンドユーザー向け直接販売商品としてフィルター交換がカウンター上で可能なキッチン水栓を発売予定

*American Standard*



**LIXIL**

## 2020年3月期 配当、および、2021年3月期 連結業績予想

### 2020年3月期 期末配当

- 当初計画に変更ありません

	19/3期	20/3期
上期	35円	35円
下期	35円	35円（予定）
通期	70円	70円（予定）
配当性向	-	162%

配当方針：配当金については連結ベースでの配当性向30%以上を維持

### 2021年3月期 連結業績・配当予想

- 新型コロナウイルス感染症による影響は、当社が事業を展開する地域によって大きく異なり、また、状況の変化も著しいことから、現段階において合理的に算定することが困難であるため、影響が精査でき、開示が可能となった段階で、公表させていただきます。また、配当予想につきましても、現時点では未定とさせていただきます。

### 経営戦略の進捗振り返り

## 中期計画における優先課題に対する進捗

### 中期計画の柱（2017年11月発表）

1

#### 持続的成長に向けた組織を作る

- 事業ポートフォリオの見直し
- 組織の簡素化
- 事業活動を通じた社会への貢献

2

#### 魅力ある差別化された製品の開発

- 差別化された製品・サービスの開発  
－新たな価値を提案

3

#### 競争力あるコストの実現

- 国内事業の強化  
－国内組織の活性化  
－生産性改善

4

#### エンドユーザー、インフルエンサーへのマーケティング

- デジタル化の推進

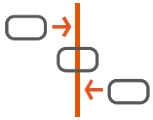
LIXIL

13

## 中期計画における優先課題とその進捗（2018年4月～）

1

#### 事業ポートフォリオの見直し



#### 基幹事業への専念

- (株)建デポ 売却 (2019/6)
- (株)シニアライフ 売却 (2019/9)
- LIXIL鈴木シャッター 売却 (2019/9)
- ペルマステイリーザ 売却決定 (2020/5)

4

#### デジタル化の推進

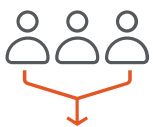


#### 顧客志向の推進、従業員エンゲージメントの向上

- ショールームにAR・VRなど最新デジタル技術を活用したサービスを拡充
- IoT製品・サービスの開発を強化
- デジタルツールの積極活用で、社内コミュニケーションの活性化と柔軟な働き方を推進

2

#### 組織の簡素化



#### 意思決定の迅速化、経営効率の改善

- (株)LIXILグループと(株)LIXILの合併 (2020年12月予定)
- LIXIL Internationalの設置により、グローバルでの統合を強化
- 国内営業組織の再編により、開発・生産・販売を効率的に統括

5

#### 差別化された製品・サービスの開発



#### 新たな価値を提案

- 高いデザイン性と機能性を融合した新製品を開発
- INAXブランドの海外展開を加速
- ハイエンド市場の開拓に向けた、海外企業との業務提携や技術協力を推進

3

#### 国内事業強化



#### 国内組織の活性化と生産性改善

- 「変わらないと、LIXIL」<sup>(1)</sup>の推進
- 実力主義への転換を加速
- キャリアオプション制度を導入、あらゆる世代のキャリア形成をサポート
- RPA導入による業務の効率化
- 取引額に応じた新価格体系の導入

6

#### 事業活動を通じた社会への貢献



#### グローバルな社会課題への対応を強化

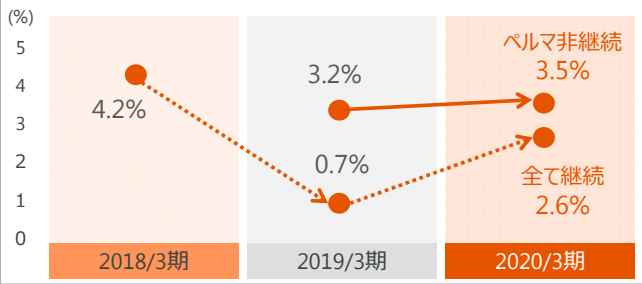
- 「SATO」事業により、世界で約1,860万人<sup>(2)</sup>の衛生環境の改善を実現
- CO<sub>2</sub>削減目標を2年前倒しで達成。再生可能エネルギーの利用を加速
- 世界的な社会的責任投資指標「DJSI World」に初選定

LIXIL (1) 包括的人事施策  
(2) 2013年からの通算

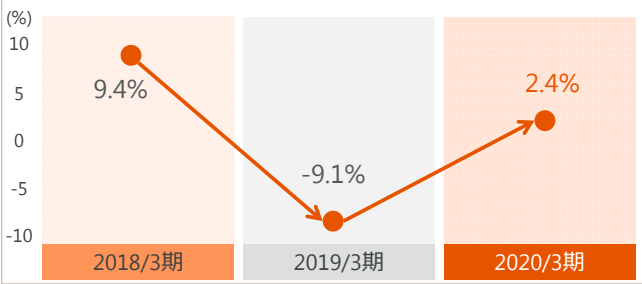
14

# 財務指標の推移

## 事業利益率

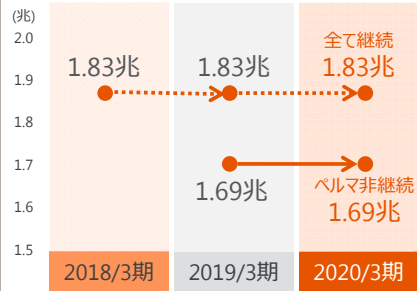


## 親会社所有者帰属持分当期利益率(ROE)\*

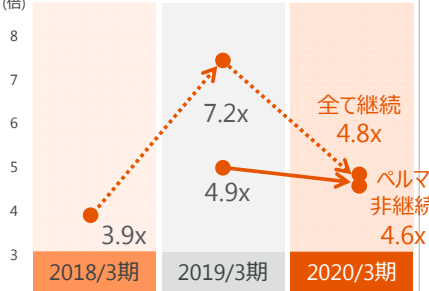


\*全て継続・ペルマ非継続で同じ

## 売上収益

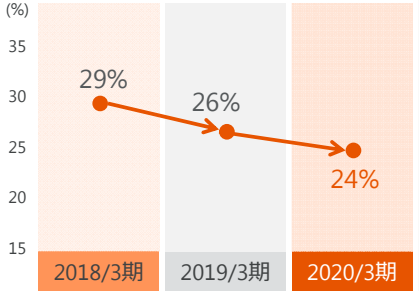


## 純有利子負債/EBITDA



20/3期 IFRS16影響除く 4.5x

## 親会社所有者帰属持分比率(1)\*



\*全て継続・ペルマ非継続で同じ  
20/3期 IFRS16影響除く 26%



(1) 日本会計基準(JGAAP)における自己資本比率

## セグメント別決算の概要



Water Technology



Housing Technology



Building Technology



流通・小売り



住宅・サービス



## Water Technology / ウォーターテクノロジー事業

▶ 日本事業は増収、キャリアオプションを除くと増益。

海外事業は為替影響により減収なるも、アメリカと欧州の利益貢献より増益

4月-3月 億円		20/3期 通期	YoY 現地通貨 ベース +0%		
地域別売上 (1)	アメリカ	1,438			
	欧州、中東、 アフリカ地域	1,742	+4%		
	アジア太平洋地域	1,013	-3%		
	日本	4,382	+1%		
	連結調整	-291			
	<b>Water Technology</b>	<b>8,285</b>	-1%		
事業利益 (1)	アメリカ	82	+25%	6%	
	欧州、中東、 アフリカ地域	253	+17%	15%	
	アジア太平洋地域	68	-22%	7%	
	日本	参考値* 308	294	参考値* +6%	参考値* +1%
	連結調整	-82			
	<b>Water Technology</b>	参考値* 630	<b>615</b>	参考値* +4.5%	+2.1%
	参考値* 7.6%	7.4%	参考値* +0.4pt	+0.2pt	

参考値\*：キャリアオプションによる費用計上影響額を除く

### ■ アメリカ

✓ 売上高は、新規重点領域に加え、ロックダウン（都市封鎖）前の需要増により第3四半期までの売上減を取り戻し、前年比横ばい。売価改善・製造コストの低減により増益

### ■ 欧州、中東、アフリカ地域

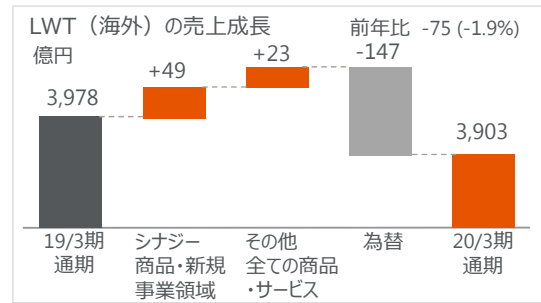
✓ 全地域で売上成長し、中欧・東欧における売上好調が継続。欧州売上前年比6%増

### ■ アジア太平洋地域

✓ 中国ではコロナウイルス感染拡大により4Qにおいて需要減速するも、通年売上前年比9%増。4月以降は市場回復基調。東南アジアでは、需要減退により減収減益

### ■ 日本

✓ 上期好調が牽引し増収。事業利益はキャリアオプションを除くと増益



(1) 地域別はマネジメントベース、合計は制度会計ベース  
 制度連結会計 為替レート： 20/3期 実績 1 USD=109.10円、1EUR=121.14円  
 マネジメントベース為替レート： 20/3期 1USD=115円、1EUR=133円で比較

LIXIL

17

## Housing Technology / ハウジングテクノロジー事業

▶ 消費税増税前の上期の好調な国内需要、製造コストの低減により増収増益。

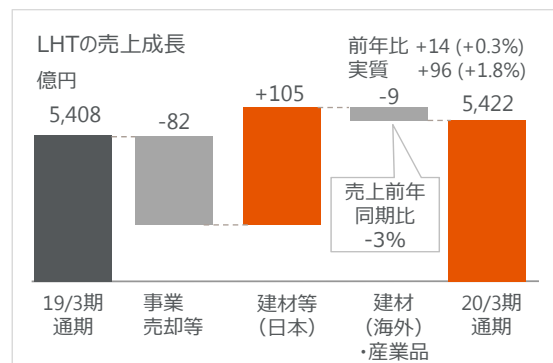
サッシ・インテリア建材の売上伸長や価格改定効果により、利益率改善

4月-3月 億円		20/3期 通期	YoY		
地域別売上	日本	5,339	+1% <sup>(1)</sup>		
	海外	83	-23% <sup>(2)</sup>		
	<b>Housing Technology</b>	<b>5,422</b>	+0%		
事業利益	Housing Technology	参考値* 302	283	参考値* +46%	+37%
	事業利益率	参考値* 5.6%	5.2%	参考値* +1.7pt	+1.4pt

参考値\*：キャリアオプションによる費用計上影響額を除く

### ■ 日本

増収増益を達成。  
 価格改定効果、サッシ・インテリア建材の新商品による売上伸長とプラットフォーム化の進捗等による生産効率改善（コストダウン効果）、販管費抑制を背景として、事業利益率は、前年同期比1.4pt改善。



LIXIL

(1) 売却等影響除く +2%  
 (2) 売却等影響除く 0%

18

## Building Technology / ビルディングテクノロジー事業

▶ ペルマスティリーザ社が非継続事業に分類されたことにより、日本事業のみとなるオリンピック需要の収束による需要減により減収

4月-3月 億円		20/3期 通期		YoY
ビルディング	売上		1,128	-3%
	事業利益	参考値* 33	27	参考値* -11% -28%
	事業利益率	参考値* 2.9%	2.4%	参考値* -0.3pt -0.8pt

参考値\*：キャリアオプションによる費用計上影響額を除く

■ オリンピック需要の収束による需要減により、減収  
キャリアオプション等人件費や物流費増により、減益

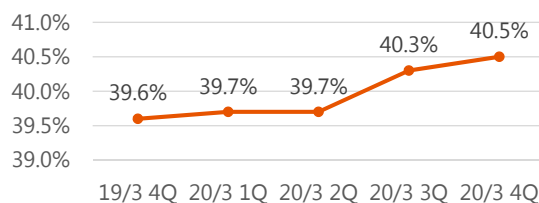
なお、ペルマスティリーザ社の株式譲渡の決定に伴い、当第4四半期より、非継続事業として税引後金額により、当期利益の下に表示（詳細は、「2020年3月期 決算短信〔IFRS〕（連結）」をご参照）

## 流通・小売り事業（D&R）、住宅・サービス事業等（H&S）

▶ リフォーム関連売上が既存店売上を牽引し、増収。物流費等の増加により減益

4月-3月 億円		20/3期 通期		YoY
D & R	売上 <sup>(1)</sup>		1,842	+4%
	事業利益 <sup>(1)</sup>		63	-18%
	事業利益率 <sup>(1)</sup>		3.4%	-0.9pt

- 20/3期12カ月で、7店舗新規出店
- 新物流センター9月稼働開始（東松山）
- リフォーム関連売上構成比率（前年同期比+0.9pt）

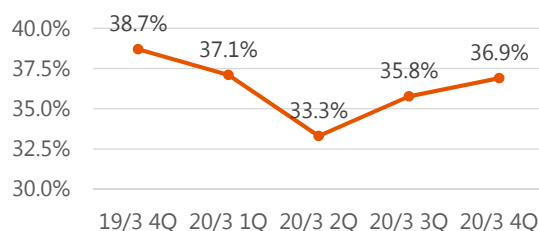


中長期でリフォーム関連商品売上構成比率50%をめざす

▶ BtoC事業等の新事業領域が伸長するも不動産売上減少で減収

4月-3月 億円		20/3期 通期		YoY
H & S	売上		540	-7% <sup>(3)</sup>
	事業利益	参考値* 32	30	参考値* -6% -14%
	事業利益率	参考値* 6.0%	5.5%	参考値* +0pt -0.4pt

- 新築以外<sup>(2)</sup>売上構成比（前年同期比 -1.8pt）



中長期で新築以外売上構成比率50%をめざす

## 連結財政状態

億円	[A]	[B]	増減			[B]-[A] 増減合計
	19/3月末	20/3月末	会計基準 適用影響 <sup>(3)</sup> (IFRS16)	ヘルステイラー <sup>ガ</sup> 売却決定 による振替	その他 (実質増減)	
現金及び現金同等物	1,414	959	-	-70	① -386	-456
営業債権及びその他の債権	4,017	3,071	-	-199	① -747	-946
棚卸資産	2,346	2,276	-	-22	-49	-70
売却目的で保有する資産	114	582	-	535	-66	468
その他	12,704	14,028	1,663	-244	-96	1,323
<b>資産合計</b>	<b>20,595</b>	<b>20,915</b>	<b>1,663</b>	<b>0</b>	<b>-1,344</b>	<b>320</b>
営業債務及びその他の債務	3,924	3,365	-	-308	① -251	-559
有利子負債	7,260	8,326	1,663	-47	② -551	1,066
売却目的で保有する資産に直接 関連する負債	50	919	-	899	-30	869
その他	3,690	2,954	-	-544	-192	-736
<b>負債合計</b>	<b>14,924</b>	<b>15,564</b>	<b>1,663</b>	<b>0</b>	<b>-1,023</b>	<b>640</b>
自己株式	-489	-489	-	-	0	0
その他	6,161	5,840	-	-	-321	-321
<b>純資産合計</b>	<b>5,672</b>	<b>5,351</b>	<b>-</b>	<b>-</b>	<b>-320</b>	<b>-320</b>
(1) 自己資本比率(%)	25.9%	③ 24.0%	-	-	-	-1.9pt
(2) 一株当たり純資産(円)	1,839.59	1,730.99	-	-	-	-108.60
期末株式数(千株)	290,095	290,103	-	-	-	8
Net有利子負債	5,845	③ 7,367	-	-	-	1,522

- ① 前期末休日の影響 ② 外部借入額 934億円減少、期中におけるリース負債の増加 336億円  
 ③ 会計基準適用影響 (IFRS16) を除く：自己資本比率は、26.1%；19/3月末 +0.2pt改善  
 Net有利子負債は、5,703億円；対19/3月末 142億円減少

LIXIL

(1) 親会社所有者帰属持分比率  
 (2) 1株当たり親会社所有者帰属持分

(3) 新会計基準 (IFRS16「リース」) が当期期首より強制適用されたことによる  
 期首(2019/4/1)時点における影響額 21

## キャッシュフローの状況及び現金残高<sup>(1)</sup>

億円	19/3期	20/3期	増減額
税引前損失	-180	-234	-54
減価償却費及び償却費	685	1,056	① 371
法人所得税等支払	-293	-165	128
運転資本	-61	206	② 267
その他	543	715	172
<b>営業キャッシュフロー</b>	<b>694</b>	<b>1,577</b>	<b>② 884</b>
投資キャッシュフロー	-723	-413	③ 310
(うち有形・無形資産取得支出)	-676	-686	-10
<b>フリーキャッシュフロー</b>	<b>-30</b>	<b>1,164</b>	<b>④ 1,194</b>
財務キャッシュフロー	16	-1,533	⑤ -1,549
現金及び現金同等物の期末残高	1,414	959	-456

- ① 新会計基準 (IFRS16) 適用影響：営業キャッシュフローへの影響 (減価償却費及び償却費の増加) 336億円増加  
 財務キャッシュフローへの影響 (リース負債の支払増加) 410億円減少  
 ② 営業キャッシュフロー：上記減価償却費の増加および運転資本の改善などにより、884億円の増加  
 ③ 投資キャッシュフロー：連結子会社の株式譲渡、関連会社に対する持分の売却による収入を主因として310億円の増加  
 ④ フリーキャッシュフロー：前年同期比1,194億円の増加 (除く、IFRS16影響：前年同期比858億円の増加)  
 ⑤ 財務キャッシュフロー：リース負債の支払増加410億円、社債の償還増加600億円、営業キャッシュフローの増加を  
 背景とした運転資金外部調達額420億円の減少による減少

LIXIL

(1) 上記キャッシュフローは非継続事業を含む

22

▶ご参考

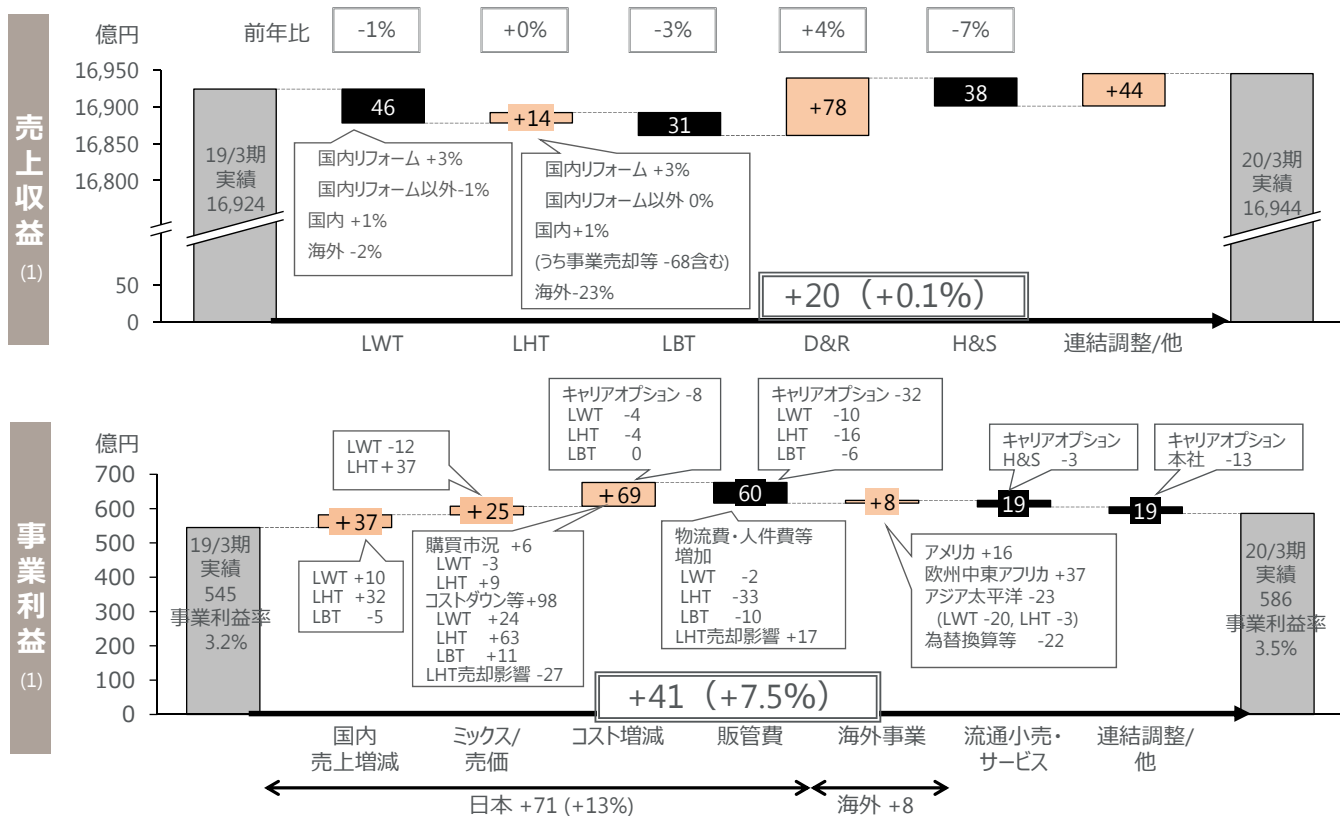
## 第4四半期（3か月・累計）セグメント別業績概況

▶ 12か月累計：売上横ばい。ハウジング事業牽引により増益

4Q3か月：中国の新型コロナウイルス感染拡大影響・キャリアオプション制度実施により減収減益

	(億円)	第4四半期 3か月				20/3期 12か月				20/3期 通期 予想 達成率 <sup>(1)</sup>
		19/3期 4Q	20/3期 4Q	増減 金額		19/3期 通期 累計	20/3期 通期 累計	増減 金額		
				うち 為替影響				うち 為替影響		
LWT <sup>(1)</sup>	売上収益	2,127	<b>2,049</b>	-32	-77	8,331	<b>8,285</b>	-147	-46	96.3%
	事業利益	141	<b>93</b>	-3	-48	602	<b>615</b>	-14	13	95.0%
LHT <sup>(1)</sup>	売上収益	1,359	<b>1,251</b>	0	-108	5,408	<b>5,422</b>	-3	<b>14</b>	101.3%
	事業利益	47	<b>17</b>	0	-30	207	<b>283</b>	0	<b>76</b>	109.0%
LBT	売上収益	338	<b>273</b>	-	-65	1,159	<b>1,128</b>	-	-31	97.2%
	事業利益	26	<b>11</b>	-	-16	37	<b>27</b>	-	-10	116.7%
流通・小売り事業 (D&R)	売上収益	404	<b>419</b>	-	15	1,764	<b>1,842</b>	-	78	98.0%
	事業利益	1	<b>-6</b>	-	-7	78	<b>63</b>	-	-14	101.9%
住宅・サービス事業 等(H&S)	売上収益	168	<b>134</b>	-	-34	579	<b>540</b>	-	-38	94.7%
	事業利益	9	<b>3</b>	-	-5	35	<b>30</b>	-	-5	90.5%
全社/連結調整	売上収益	-81	<b>-63</b>	-	18	-316	<b>-272</b>	-	44	-
	事業利益	-141	<b>-126</b>	-	15	-414	<b>-432</b>	-	-19	-
合計	売上収益	4,316	<b>4,064</b>	-33	-252	16,924	<b>16,944</b>	-150	<b>20</b>	99.5%
	事業利益	82	<b>-8</b>	-3	-90	545	<b>586</b>	-14	<b>41</b>	99.3%

## 2020年3月期 売上収益・事業利益の増減（前年同期差）



(1) 19/3期および20/3期実績はペルマステリー社及びその子会社を非継続事業に分類後の数値

25

## 2020年3月期 その他収益・費用、金融収益・費用、関係会社持分の処分益 内訳

億円	19/3期 通期実績 遡及修正後	20/3期 通期実績	増減額
賃貸収入	63	58	-5
有形固定資産売却益	2	7	5
子会社株式売却益	0	14	14
投資不動産売却益	8	6	-2
売却目的資産の公正価値評価損（戻入益）	0	0	0
その他	52	59	7
<b>その他の収益</b>	<b>125</b>	<b>144</b>	<b>19</b>
賃貸原価	42	45	3
有形固定資産除売却損	24	25	1
減損損失	54	173	120
その他	60	95	35
<b>その他の費用</b>	<b>180</b>	<b>338</b>	<b>158</b>
受取利息	12	14	3
受取配当金	15	15	1
デリバティブ評価益	48	23	-25 <sup>(1)</sup>
その他	0	0	0
<b>金融収益</b>	<b>74</b>	<b>53</b>	<b>-21</b>
支払利息	47	60	13
為替差損	37	29	-8 <sup>(1)</sup>
その他	7	0	-7
<b>金融費用</b>	<b>91</b>	<b>90</b>	<b>-1</b>
<b>関係会社に対する持分の処分益</b>	<b>-</b>	<b>110</b>	<b>110</b>

■ その他の費用には  
新型コロナウイルス  
一時金35億円含む

(1) 「デリバティブ評価益」は  
「為替差損」と両建てで表示  
されています。

	20/3期 実績
デリバティブ評価益	23
為替差損	-29
Net	-6損

## セグメント別実績

億円		19/3期 通期			20/3期 通期			前年同期比%	
		国内	海外	計	国内 (実績値)	(参考値)*	海外		計
LWT	売上	4,353	3,978	8,331	4,382	4,382	3,903	8,285	-0.6%
	事業利益	292	311	602	294	308	321	615	2.1%
	%	6.7%	7.8%	7.2%	6.7%	7.0%	8.2%	7.4%	+0.2pt
LHT	売上	5,300	108	5,408	5,339	5,339	83	5,422	0.3%
	事業利益	213	-6	207	292	311	-9	283	36.5%
	%	4.0%	-	3.8%	5.5%	5.8%	-	5.2%	+1.4pt
LBT	売上	1,159	0	1,159	1,128	1,128	-	1,128	-2.7%
	事業利益	37	0	37	27	33	-	27	-27.6%
	%	3.2%	-	3.2%	2.4%	2.9%	-	2.4%	-0.8pt
D&R	売上	1,764		1,764	1,842	1,842		1,842	4.4%
	事業利益	78		78	63	63		63	-18.1%
	%	4.4%		4.4%	3.4%	3.4%		3.4%	-0.9pt
H&S	売上	579		579	540	540		540	-6.6%
	事業利益	35		35	30	32		30	-13.5%
	%	6.0%		6.0%	5.5%	6.0%		5.5%	-0.4pt
連結調整・他(1)	売上			-316				-272	-
	事業利益			-414		13		-432	-
LIXIL グループ(1)	売上	13,155	4,086	16,924	13,231	13,231	3,986	16,944	0.1%
	事業利益	653	305	545	705	761	313	586	7.5%
	%	5.0%	7.5%	3.2%	5.3%	5.7%	7.8%	3.5%	+0.2pt

参考値\*：キャリアオプションによる費用計上影響額を除く

※ 2020年5月にベルマステリーザ社の株式売却を決定したことに伴い、ベルマステリーザ社及びその子会社の事業を「非継続事業」に分類。比較のため前期も同様に組替

LIXIL

(1) 国内・海外の売上/事業利益の合計と「計」の金額の差は、連結調整・他の金額です

27

## 日本 - 国内リフォーム戦略の進捗：リフォーム向け売上の拡大への注力

▶ 上期の好調な国内需要と新商品の好調な売上を背景にリフォーム商材売上は前年同期比+2.1%

リフォーム商材売上			
億円	19/3期 実績(1)	20/3期 実績	前年 同期比
リフォーム商材売上*	3,110	3,176	+2.1%
リフォーム比率	36%	36%	+0.2pt
* LIXILジャパンカンパニーとビルリフォーム子会社の売上合計(内部取引消去後)			
売上前年同期比	4Q3か月		
リフォーム商材	LWT-4%, LHT-5%, 合計-5%		
リフォーム商材以外	LWT-4%, LHT-8%, 合計-7%		

リフォーム加盟店の推移			
店	18年 3月	19年 3月	20年 3月
LIXILリフォームショップ (FC)	546	571	554
LIXILリフォームネット (ボランティア)	12,602	11,783	11,789
リクシルPATTOリフォーム サービスショップ	3,705	3,800	3,602

▶ セグメント別リフォーム商材売上比率

セグメント	19/3期	20/3期	差
LWT	43%	44%	+0.7pt
LHT	31%	32%	+0.3pt
LBT	25%(1)	22%	-2.4pt
国内・計	36%(1)	36%	+0.2pt

「いつもを、幸せに。」を実現する、  
新しいコミュニケーションをスタート(2)

人々のなげなく過ごすいつもの  
日々をかけがえのないものにすべく、  
「いつもを、幸せに。」という言葉  
を共通のコミュニケーションワードとし  
てCMや各種プロモーションを展開  
し、健康で快適な住空間を提案。



LIXIL

(1) 同一基準に基づく比較を可能とするため、前年同期のリフォーム売上高を遡及修正しています

(2) ニュースリリース <https://newsrelease.lixil.co.jp/news/pdf/2020022801.pdf>

28

## 商品・サービス別売上状況

(単位：億円)

(単位：%)

セグメント	主要商品名	19/3期 通期実績 <sup>(1)</sup>	20/3期 通期実績 <sup>(1)</sup>	前年 同期比 (%)	前年同期比							
					19/3期				20/3期			
					1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
LWT	衛生機器	1,034	<b>1,060</b>	2.6%	-2.8	-5.0	-0.6	-3.8	1.4	10.9	0.2	-1.9
	バスルーム	993	<b>1,005</b>	1.2%	2.8	-3.2	-5.3	-4.9	-1.4	11.2	0.8	-5.8
	洗面化粧台	369	<b>376</b>	1.8%	2.0	-1.9	-0.5	0.3	0.6	12.6	-4.4	-0.7
	キッチン	1,123	<b>1,114</b>	-0.9%	1.6	-3.2	-1.9	0.0	0.2	11.3	-5.4	-8.6
	タイル	377	<b>363</b>	-3.8%	3.6	-4.2	0.7	-2.6	-5.0	5.1	-8.2	-6.3
LHT	住宅サッシ	1,862	<b>1,900</b>	2.0%	-7.4	-7.3	0.5	3.8	5.5	10.2	-4.1	-2.7
	エクステリア	1,110	<b>1,101</b>	-0.9%	-3.9	-3.8	12.1	11.8	5.5	13.4	-10.3	-9.0
	インテリア建材	641	<b>698</b>	8.9%	0.2	0.9	10.0	13.1	16.1	20.8	1.4	0.2
	その他LHT	872	<b>816</b>	-6.4%	3.6	4.9	8.8	0.7	7.6	4.0	-19.3	-14.9
LBT	ビルサッシ	1,159	<b>1,128</b>	-2.7%	6.5	-0.2	7.1	10.0	0.4	0.3	2.2	-12.4
D&R	ホームセンター売上	1,764	<b>1,842</b>	4.4%	-1.0	1.7	3.4	2.4	4.9	11.8	-2.3	3.8
H&S	住宅・サービス事業	579	<b>540</b>	-6.6%	7.6	11.3	-5.1	31.9	6.0	-1.0	-6.9	-20.3
	海外売上	4,086	<b>3,986</b>	-2.4%								
	その他・連結調整等	955	<b>1,016</b>	-								
	売上合計	<b>16,924</b>	<b>16,944</b>	0.1%								

※タイルとその他LHTについて、当第2四半期において社内管理の定義に合わせて変更しました。過去実績・過去前年同期比も合わせて変更しています。



(1) 20/3期 第4四半期でペルマステイラー社及びその子会社の事業の非継続事業への振り替えに伴い、通期前年度実績を遡及修正

29

## 主要海外子会社業績

会社名	ASB (ASD Holdings)			
通貨・単位	単位：百万米ドル			
決算期	19/3期 通期 実績	20/3期 通期 実績	前年同期比	
為替レート(期中平均レート)	110.69	<b>109.10</b>	-	
売上高	1,247	<b>1,248</b>	0%	
事業利益	55	<b>65</b>	20%	
事業利益率	4%	<b>5%</b>	+0.9pt	
決算期	19/3期 期末残高	20/3期 通期 (12か月)		
		償却額	その他 <sup>(1)</sup>	期末残高
為替レート (残高は期末レート、償却は期中平均レート)	110.99	109.10	-	<b>108.83</b>
のれん	231	-	-	<b>231</b>
無形資産	235	-7	-14	<b>214</b>
会社名	Grohe Group (グローエ) <sup>(2)</sup>			
通貨・単位	単位：百万ユーロ			
決算期	19/3期 通期 実績	20/3期 通期 実績	前年同期比	(参考) LIXIL Africa影響 除く前年同期比 <sup>(2)</sup>
為替レート(期中平均レート)	128.43	<b>121.14</b>	-	-
売上高	1,513	<b>1,552</b>	3%	6%
事業利益	150	<b>192</b>	28%	10%
事業利益率	10%	<b>12%</b>	+2.5pt	+0.4pt
決算期	19/3期 期末残高	20/3期 通期 (12か月)		
		償却額	その他 <sup>(1)</sup>	期末残高
為替レート (残高は期末レート、償却は期中平均レート)	124.56	121.14	-	<b>119.55</b>
のれん	1,210	-	-2	<b>1,208</b>
無形資産	1,474	-23	0	<b>1,451</b>



(1) 為替換算差額など

(2) 2019/7よりLIXIL Africa (旧GDWT) はGrohe Group傘下から(株)LIXILの子会社となっています

30

## 主要海外子会社業績

会社名	Permasteelisa (ペルマスティリーザ) <sup>(1)</sup>		
通貨・単位	単位：百万ユーロ		
決算期	19/3期 通期 実績	20/3期 通期 実績	前年同期比
為替レート(期中平均レート)	128.43	121.14	-
売上高	1,117	1,183	6%
事業利益	-323	-86	-
事業利益率	-	-	-

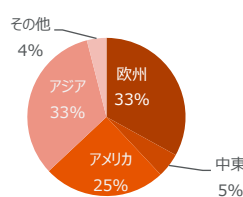


決算期	19/3期 期末残高	20/3期 通期 (12カ月)			期末残高
		償却額	減損	その他 <sup>(3)</sup>	
為替レート(残高は期末レート、償却は期中平均レート)	124.56	121.14	-	-	119.55
のれん	-	-	-	-	-
無形資産	-	-	-	-	-
工事損失引当金 <sup>(2)</sup>	45	-	-	-13	33

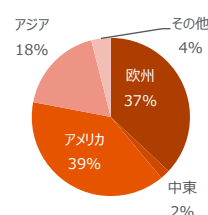
### ■ 受注状況

通貨・単位	単位：百万ユーロ	
決算期	19/3期 通期 実績	20/3期 通期 実績
新規受注	959	903
期末残高	1,951	1,633

20/3期 新規受注額



20/3期 受注残高



- (1) ペルマスティリーザ社の株式譲渡の決定に伴い、当第4四半期より、非継続事業に分類  
 (2) 連結業績では工事損失引当金は税引後の金額により非継続事業の損失として別掲  
 (3) 為替換算差額、引当金純増減額など

31

## 役員体制の変更

(3月23日発表)

(6月開催 株主総会后)

### ▶ 取締役一覧 (◎は2020年6月新任、□は独立役員、下線付きは女性)

	氏名	取締役会 議長	指名 委員会	監査 委員会 <sup>(1)</sup>	報酬 委員会	ガバナンス 委員会 <sup>(2)</sup>
社内 取締役	瀬戸 欣哉 <sup>(3)</sup>					
	◎ 松本 佐千夫 <sup>(3)</sup>					
	◎ <u>ファ・ジン・ソン・モンテサーノ</u> (Hwa Jin Song Montesano) <sup>(3)</sup>					
社外 取締役	□ 内堀 民雄			○	○	○
	□ <u>鬼丸 かおる</u>		○	○		委員長
	□ 鈴木 輝夫			委員長		○
	□ 西浦 裕二		委員長		○	○
	□ 濱口 大輔			○	委員長	○
	□ 松崎 正年	議長	○			○



- (1) (株)LIXILグループと(株)LIXILの一体化経営を行うため、監査委員3名は(株)LIXILの監査役に兼任  
 (2) ガバナンス委員会は、社外取締役候補者 全6名で構成  
 (3) 執行役に兼務

32



## 役員体制の変更

(3月23日発表)

(2020年4月1日付、任期は本定時株主総会の終結後最初に招集される取締役会の終結の時まで)<sup>(1)</sup>

### 執行役一覧

(◎は2020年4月新任、※は取締役を兼任(2020年4月～6月)、下線付きは女性)

氏名		役職
瀬戸 欣哉	※	代表執行役社長 兼 Chief Executive Officer
松本 佐千夫		代表執行役副社長 経理・財務・M&A担当 兼 Chief Financial Officer
<u>ファ・ジン・ソン・モンテサーノ</u> ( <u>Hwa Jin Song</u> <u>Montesano</u> )		執行役専務 人事・総務・広報・IR・渉外・コーポレートレスポンスビリティ担当 兼 Chief People Officer
金澤 祐悟		執行役専務 マーケティング・デジタル・IT 担当 兼 Chief Digital Officer
ビジョイ・モハン (Bijoy Mohan)		執行役専務 LIXIL International 担当
吉田 聡	※	執行役専務 LIXIL Housing Technology (LHT) Japan 担当
大西 博之		執行役専務 LIXIL Water Technology (LWT) Japan 担当
君嶋 祥子	◎	執行役専務 法務・コンプライアンス担当 兼 Chief Legal & Compliance Officer

LIXIL (1) 2020年3月23日公表「(ご参考資料) 株式会社LIXILグループ 取締役・執行役 および 株式会社LIXIL 取締役」ご参照

33

## 事業関連トピックス

### 新発想の可動式アメニティブース 「with CUBE」新開発<sup>(1)</sup>

物流センターなどの施設が抱える  
トイレ空間の困りごとを解決



(写真: 「with CUBE」、物流センターを中心に 2020年4月より受注開始)

近年の物流業界を取り巻く環境の変化を背景として、増加傾向にある賃貸物流センターに、最短一日で設置でき、必要なときだけ月額料を支払うことで利用可能な快適なトイレ空間を提供

### 「iF DESIGN AWARD 2020」<sup>(2)</sup>、 「Red Dot Design Award 2020」で 合計44の賞を獲得<sup>(3)</sup>

デザイン思考が生み出す  
住まいのイノベーション



(写真: グローバル展開の拡大に先んじて開発されたINAXブランドの商品イメージ。)

中期計画の実現に向け、LIXILでは世界各地にデザインスタジオを設置し、デザインプロセスの見直しを実施。この取り組みにより本年度は、GROHEのキッチン水栓が最優秀賞を獲得。INAXにおいてはミラノ・デザイン・ウィーク2019で発表された、生活者の視点に立ったコンセプトが評価され年間受賞数が増加

LIXIL (1) ニュースリリース <https://newsrelease.lixil.co.jp/news/pdf/2020021202.pdf>  
(2) ニュースリリース [https://www.lixil.com/jp/news/pdf/20200311\\_iFAwards\\_J\\_web.pdf](https://www.lixil.com/jp/news/pdf/20200311_iFAwards_J_web.pdf)  
(3) LIXILデザインアワードウェブサイト [https://www1.lixil.co.jp/design\\_award/](https://www1.lixil.co.jp/design_award/)

34

## ESG関連トピックス

### 「CDPウォーターセキュリティ2019 Aリスト企業」に2年連続で選定<sup>(1)</sup>

国際的な非営利団体CDPが実施する水資源管理に関する調査において、「水の保全と環境保護」や「グローバルな衛生課題の解決」を含む多面的な取り組みが評価対象

事業プロセスや製品・サービスの提供における、継続的な水資源の保護活動が最高評価



「CDP気候変動2019」調査においても、昨年のB評価から、より高いAマイナス評価を取得。

### 再生可能エネルギーへの注力

LIXIL環境ビジョン「CO2ゼロ・循環型の暮らし」の実現に向けて、事業所で使用する電気の100%を再生可能エネルギーに切り替えるイニシアチブ「RE100」に参加

2050年までに事業所で使用する電気の再生可能エネルギー100%化を目指す



日本：2019年11月、本社を集約すると同時に再生可能エネルギー100%電力を調達開始

海外：GROHEの全ての工場・物流センターで、CO2排出量を実質ゼロにするプロジェクトを開始



(1) ニュースリリース [https://www.lixil.com/jp/news/pdf/20200206\\_CDP\\_2019\\_J\\_web.pdf](https://www.lixil.com/jp/news/pdf/20200206_CDP_2019_J_web.pdf)

35

## 外部評価

### DJSI World

S&Pダウ・ジョーンズ・インデックスとRobecoSAM社のダウ・ジョーンズ・サステナビリティ・インデックス (DJSI) の「DJSI World」の構成銘柄に初めて選定 (2019年9月)



### FTSE4Good Index Series

FTSE Russell社<sup>(1)</sup>の「FTSE4Good Index Series」の構成銘柄と「FTSE Blossom Japan Index」の構成銘柄に3年連続で選定 (2019年6月)



### DJSI Asia Pacific

S&Pダウ・ジョーンズ・インデックスとRobecoSAM社のダウ・ジョーンズ・サステナビリティ・インデックス (DJSI) の「DJSI Asia Pacific Index」の構成銘柄に3年連続で選定 (2019年9月)

### S&P Japan 500 ESG

S&Pダウ・ジョーンズ・インデックスの「S&P Japan 500 ESG」の構成銘柄に初めて選定 (2019年6月)

### MSCI日本株女性活躍指数

MSCI社の「MSCI日本株女性活躍指数(WIN)」の構成銘柄に3年連続で選定 (2019年6月)



#### 免責事項

株式会社LIXILグループのMSCI指数への組み入れ、及び本ページにおけるMSCIのロゴ、商標、サービスマークまたは指数名の使用は、MSCIまたはその関連会社による株式会社LIXILグループへの後援、保証、販促には該当しません。MSCI指数はMSCIの独占的財産です。MSCI指数の名前およびロゴはMSCIまたはその関係会社の商標またはサービスマークです。

### なでしこ銘柄

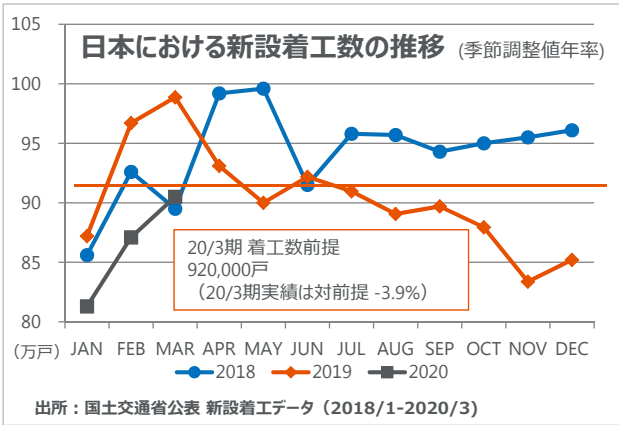
経済産業省と東京証券取引所が共同で女性活躍推進に優れた企業として選定。3年連続、5回目 (2020年3月)



(1) FTSE International LimitedとFrank Russell Companyの登録商標です。

36

## 事業環境



### 新築着工水準 (対前年比)

- 2020/1-3：-9.6%
- 2019/10-12：-9.4%

	2019年1月-12月 (12か月)		2019年4月-3月 (12か月)	
	戸数	前年比	戸数	前年比
総数	905,123	-4.0%	883,687	-7.3%
持家(1)	288,738	1.9%	283,338	-1.5%
貸家	342,289	-13.7%	334,509	-14.2%
分譲マンション	117,803	6.6%	111,615	-6.7%
分譲戸建(2)	147,522	3.6%	146,154	0.9%
戸建合計(1)+(2)	436,260	2.5%	429,492	-0.7%



為替 (期中平均レート)	18/3期 実績	19/3期 実績	20/3期 実績
米ドル	110.81円	110.69円	109.10円
ユーロ	129.45円	128.43円	121.14円

原材料価格の 実績	18/3期 実績	19/3期 実績	20/3期 実績
アルミ価格 (購入ベース)	23.4万円/トン	24.9万円/トン	21.5万円/トン
銅価格	63.9万円/トン	63.2万円/トン	58.6万円/トン

LIXIL

37

**LIXIL**  
Link to Good Living

この資料には、(株)LIXILグループの将来についての計画と予測の記述が含まれています。これらの計画と予測は、リスクや不確定要素を含んだものであり、実際の業績は様々な重要な要素により当社の計画・予測と大きく異なる結果となる可能性があります。